

科目名	母性看護学特論Ⅱ		分野・必選別・単位数	専門科目 (リプロダクティブヘルス・ライツ看護学)		選択必修	2単位
担当教員	◎教授 梶原祥子					科目ナンバー	T2C208
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける女性の生涯にかかわる健康をめぐる様々な現象を理解し、諸問題の解決のための看護介入プログラムを試作し新しい看護ケアの構築をめざす。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける様々な現象について説明できる。 ・周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツに必要な看護介入方法について説明できる。 ・看護介入プログラムを試作しプレゼンテーションができる。 						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	梶原 祥子	教授	科目概説 授業の内容、方法、進め方を確認し、自分の計画を立案できる。			
	2	梶原 祥子	教授	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける様々な女性の健康問題の分析および評価ができる。			
	3	梶原 祥子	教授	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける様々な女性の健康問題の分析および評価ができる。			
	4	梶原 祥子	教授	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける様々な女性の健康問題の分析および評価ができる。			
	5	梶原 祥子	教授	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける様々な女性の健康問題の分析および評価ができる。			
	6	梶原 祥子	教授	学生個々の関心に基づきテーマを決定し、問題解決のための看護介入プログラムが作成できる。			
	7	梶原 祥子	教授	学生個々の関心に基づきテーマを決定し、問題解決のための看護介入プログラムが作成できる。			
	8	梶原 祥子	教授	学生個々の関心に基づきテーマを決定し、問題解決のための看護介入プログラムが作成できる。			
	9	梶原 祥子	教授	学生個々の関心に基づきテーマを決定し、問題解決のための看護介入プログラムが作成できる。			
	10	梶原 祥子	教授	作成プログラムのプレゼンテーション・討議を実施できる。			
	11	梶原 祥子	教授	作成プログラムのプレゼンテーション・討議を実施できる。			
	12	梶原 祥子	教授	作成プログラムのプレゼンテーション・討議を実施できる。			
	13	梶原 祥子	教授	作成プログラムのプレゼンテーション・討議を実施できる。			
	14	梶原 祥子	教授	まとめ 看護介入プログラムの評価とその展望について伝達できる。			
15	梶原 祥子	教授	まとめ 看護介入プログラムの評価とその展望について伝達できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味や新しい知見について調べておく。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要である。					
教科書	特に定めない。						
参考書	必要に応じ適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	レポート30%、毎回の討議への発言や貢献度30%、プレゼンテーションスキル40%により評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						